



計画(第7次)の成果指標(案)

資料3

第7次の成果指標の方向性

- ・第6次で達成していない成果指標の項目は、引き続き継続して成果指標とする。
- ・第6次で達成した項目(ワークライフバランス及びDV被害者の相談窓口)は、変更せず、指標数値を第6次より高くする。

【事務局の懸念事項】

- セクハラ被害者の相談割合について
- 日常生活の中で「差別があると感じない」の割合について

第6次成果指標

男女平等の進度で「十分平等になってきている」と
「かなり平等になってきている」の合計回答割合

33.8%
(令和2年度)

40.0%
以上
(令和7年度)

審議会等における女性委員の割合

29.5%
(令和2年度末)

40.0%
以上
(令和8年度)

ワーク・ライフ・バランスの希望と現実の差

20.9
ポイント
(令和2年度)

15 ポイント
以下
(令和7年度)

※「ワーク・ライフ・バランスの希望と現実の差」とは、
『「仕事」と「家庭生活』』、『「仕事」と「地域・個人の生活』』、
『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活』』の優先度における希望と現実の差の合計を表します。

家事などの分担で男性の「いつもしている」の回答割合

全項目で増加
(令和7年度)

DV被害者の相談窓口が行政にあることを知っている」の回答割合

55.9%
(令和2年度)

60.0%
以上
(令和8年度報告値)

DV被害者が「相談したことがある」の回答割合

33.0%
(令和2年度)

40.0%
以上
(令和7年度)

セクハラ被害者が「相談したことがある」の回答割合

34.5%
(令和2年度)

40.0%
以上
(令和7年度)

性の多様性について「LGBTという言葉を知っている」の回答割合

76.9%
(令和2年度)

95.0%
以上
(令和7年度)

日常生活の中で「差別があると感じていない」の回答割合

68.8%
(令和2年度)

70.9%以上
(令和8年度報告値)

令和7年度 意識と実態調査等実績

31.90%

30.5%

14.4
ポイント

11項目中
4項目が
増加

66.7%

37.3%

29.0%

43.6%

54.7%

第7次成果指標

40.0%以上
(令和12年度)

40.0%以上
(令和13年度)

12.5 ポイント以下
(令和12年度)

全項目で増加
(令和12年度)

70.0%
以上
(令和13年度報告値)

40.0%
以上
(令和12年度)

40.0%
以上
(令和12年度)

75.0%
以上
(令和12年度)

70.9%
以上
(令和13年度報告値)